

耐久高等学校同窓会報

耐久






文化祭の
にぎわい



平成 30 年 6 月 14・15 日

NO. 42

平成29年度卒業式・平成30年度入学式

第七十回全日制・第六十二回
定時制卒業式が三月一日(木)
朝夕に分け挙行された。

笹井校長は、歴史小説家・司馬遼太郎の随筆「21世紀に生きる君たちへ」を引用され、「変化が激しいこの時代こそ、人に対する優しさや思いやりを大切に、力強く未来を担って欲しい」とエールを贈られた。

大西会長は、明恵上人の「あるべきようは」を引用され「今後自分はどうあるべきかを常に考え行動してほしい」と温かく力強い言葉を贈られた。

そして卒業生代表、楠間久美さんの答辞で最高潮を迎えた式典は、厳粛さと清々しい雰囲気



卒業式

のうちに終了した。

平成三十年度入学式は、四月六日(金)に行われ、全日制159名、定時制2名の入学が許可された。全日制入学式では、新入生を代表して岩本和真君が「耐久生としての自覚と誇りを持ち、何事にも精一杯努力することを誓います」と堂々とした宣誓を行った。

引き続き行われた対面式では、生徒会役員やクラブリーダーが中心となり「あいさつマナー指導」と「校歌指導」が行われた。新入生たちは耐久生の一員として自覚ある高校生活のスタートを切った。



対面式

平成30年度 全国大会出場クラブ 激励金 贈呈

平成30年7月3日(火) 13時30分、全国大会出場クラブの代表者に、大西同窓会長と笹井校長より、激励金とともに健闘を祈念するエールが贈られた。各代表者は大会に臨むそれぞれの決意を力強く述べた。

○バドミントン

- 全国高校総体 男子・シングルス・ダブルス 2名
- 全国高校総体 女子・シングルス 1名 (静岡県)

○空手

- 全国高校総体 男子個人 形 1名 (岐阜県)

○マンドリン

- 全国高等学校ギター・マンドリン音楽コンクール 27名 (大阪府)
- 全国高等学校総合文化祭 27名 (長野県)



同窓会活動報告

2018(H30)年

- 3. 1 卒業証書授与式 (全日制・定時制)
- 5. 16 本部・有田耐久会合同役員会 (本校)
- 20 有田耐久会バスツアー
- 27 関東耐久会総会 (ホテルメトロポリタン池袋)
……校長・会長・有田耐久会会長
- 29 耐久リバースを支援する会 (本校)
- 6. 14 耐久高校文化祭 (一般公開)
- 15 耐久高校文化祭 (全体鑑賞)
- 17 なぎの木の手入れ作業 ……有田耐久会・本部役員
- 22 同窓会役員・学校歓迎会
- 25 会報編集委員会 (本校)
- 7. 3 全国大会出場クラブ激励金贈呈 (本校)
- 7 県同窓会連絡協議会総会 (アパローム紀の国)
- 8. 22 会報編集委員会 (本校)

支 部 連 絡 先	和歌山耐久会 会長 田 辺 善 彦 〒640-8144 和歌山四番丁 26 番地の 2 田辺法律事務所 Tel 073-431-2801	関西耐久会 会長 地 引 民 子 幹事長 宮 崎 裕 子 〒563-0017 大阪府池田市伏尾台 3-8-1 Tel 072-753-1219	関東耐久会 会長 林 紀 男 〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-3-12-1002 株式会社 オフィスコ 桜バンケット Tel 03-3359-9520	有田耐久会 会長 和 泉 保 廣 〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅 1985 耐久高等学校・同窓会事務局 Tel 0737-62-4148
	同窓会のホームページ URL http://taikyukai.net/			

久あいやつり

全日制教頭 川久保 尚志



本年度、前任の県立紀の川高等学校（定時制・通信制高校）から耐久高等学校全日制教頭に着任しました。新任式では、生徒たちの態度、話を聞く姿勢のすばらしさを感じながら、「耐久高校の教職員や生徒のみなさんと思いを共有し、より良い学校づくりに頑張りたい」と決意を表明しました。

さて、本校では平成27年度から、学校再生改革に取り組んでいます。わずか3年しか経過していませんが、入学後の初期指導に力を入れた結果、生徒たちの基礎学力は向上し、進路実績も大きく回復しました。しかしながら、これらの成果が地域中学生の進路選択の際のプラス要因となるまでには至っていない、という現実もあります。本年4月から、地域からの信頼を得ることに加え、中学生にも目標としてもらえ

るような学校づくりに向け、さらなる改善に取り組んでおります。

赴任してわずか4ヶ月ですが、多くの同窓会のみなさまにお目にかかりました。また、先日には、理数科最終学年の卒業生の方と思いがけずお話をする機会に恵まれました。みなさまに共通する思いを形にできるよう、微力ではありますが力を尽くして参りたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

久あやま

事務長 玉置 真



この4月の人事異動で有田中央高等学校から転任して参りました玉置真です。引き続き有田の地で勤務させていただくことになりました。よろしくお願いいたします。

先日、文化庁による平成三十年度の日本遺産に、「百世の安堵」津波と復興の記憶が生きる広

川の防災遺産が認定されました。益々当地域の認知度が高まりますとともに、地域の活性化が更に図られることと思います。その日本遺産の中核をなす「広村堤防」を築かれた濱口梧陵翁らが前身の「稽古場」を創設されてから、耐久高等学校は本年で166年を数えます。そのような歴史と伝統のある学校で勤務させていただくことになり、身の引き締まる思いです。

耐久高等学校は、学校再生改革である耐久リバース等により、充実発展に邁進しています。平成から新しい時代を迎えるにあたり、本校の更なる進化のため、微力ながら尽力してまいる所存です。

同窓会の皆様方には、日頃より本校に何かとご協力をいただき、誠にありがとうございます。皆様方のご活躍とご健勝を祈念いたしますとともに、今後とも本校にご支援を賜りますようお願いいたします。ごあいさつとさせていただきます。

職員人事異動

- ・ 戸川しをり 教頭
↓ 日高高校教頭
- ・ 田村 修二 事務長
↓ 退職

文化祭一般公開に参加して

6月14日に耐久高校文化祭が広く地域に一般公開され、同窓会役員5名で母校を訪れました。

始めに、正面玄関に飾られた風船やドラえもん・アンパンマンなどのかわいい人気キャラクターが私たちを歓迎してくれました。次に体育館で開催されている2年生各クラスの創作した笑い満載の劇を鑑賞しました。その後、書道部や美術部などの作品を鑑賞しました。季節の花を活けた華道の作品を展示したお茶席では、お手前を教えていただき、おいしいお菓子とお抹茶で「ほっと」一息つきました。最後には3年生の模擬店でのおいしい料理をいただきました。

防犯対策にも万全を期して開催された文化祭。各学年の趣向を凝らした展示や舞台演技、模擬店の文化クラブの活動の一端を見学させてもらい、力作・熱演・奮闘ぶりに心を熱くしました。

同窓会長 大西 義弘



<p>SHIMODE DENTAL CLINIC 医療法人 わかしお会 下出 優 (高・理数2期・S48卒) 下出 輝 (高54期) 下出 齒科 廣川町広292-1 TEL (0737) 63-6482</p>	<p>金山寺みそ 醸造元 ◎ 垣内みそ店 垣内 欣久 (高15期) 本店 湯浅町別所 342-1 TEL (0737) 63-5855 和歌山店 和歌山市里 45-1 TEL (073) 462-7003</p>	<p>YOMURI IC 読売I.C.湯浅 池辺 正晴 (高15期) 湯浅町港区 2894 TEL 63-2696 FAX 63-3517</p>	<p>フォトショップ プルタナカ 成人式 同窓会 記念写真 速くてキレイな仕上がりに 超高画質 フジカラー 純正デジカメプリント 10分仕上 畑中 一伸 湯浅町湯浅 オークワ湯浅店内 TEL 0737-63-2170 スーパーオークワ有田川店内 TEL 0737-52-7808</p>
---	--	---	---

母校への、ご理解とご支援を！

特集

濱口梧陵生誕二〇〇年記念特集 ⅡそのⅡ

二〇二〇年六月十五日——濱口梧陵翁生誕二〇〇年を迎えます。
現在、同窓会（本部・有田）では梧陵生誕二〇〇年にあたり記念事業等の企画を進めているところです。

同窓会報でもその一環として、梧陵翁の偉業をより周知してもらうべく、「梧陵生誕二〇〇年 記念特集」を今回より企画いたしました。まず第一回は、濱口梧陵に造詣が深く梧陵研究の第一人者である垣内貞氏にご寄稿いただきました。次号からも続くこの「特集」にどうぞご期待下さい。

「濱口梧陵翁の偉業を偲ぶ」



垣内 貞 (旧中39期)

濱口梧陵翁の生誕二百年が間近という。

その翁の人生は、明治十八年（一八八五）、六十五歳で閉じられたが、今その名声が高まり、「防災の濱口」「津波の濱口」として世界に賞賛され、安政の津波で梧陵翁が活躍した「十一月五日」を「世界津波の日」として国連で承認される。

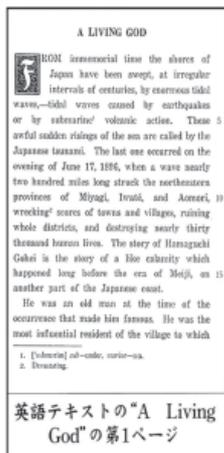
耐久高校同窓会としても、創立者がこの様に世界に評価されることは、何よりの喜びであり、慶事である。翁の業績を世界に知らしめた人がい

それがイギリス人のラフカディオ・ハーン、親日家で「小泉八雲」とも称した。

翁、没後十年余の明治二十九年六月十五日午後八時半ごろ、明治三陸大津波が発生、死者はおよそ二万二千人。平成の東北大震災と変わらぬ大惨事であった。この時、「夜間で照明もなく、被害は止むを得なかった」という世評



ラフカディオ・ハーン (小泉八雲) (1850-1904)



英語テキストの「A Living God」の第1ページ

が大半であったが、当時の大阪毎日新聞は、「暗闇の中での避難には灯火は必要であるが、今一つ咄嗟の工夫が大津波より四十二年前、紀州沿岸が安政の大津波で大きな被害を受けたが、その時、広村の濱口儀兵衛は田園に積みおろし幾つかの稲むらに火を放ち、暗闇に戸惑う村人に避難すべき道を示し、多くの村人が高台に辿り着くことが出来た」と報じた。

当時、東京に滞在中の小泉八雲は、早速この安政の津波の事例を調査し、脚色も加えて『ア・リビングゴッド(生ける神)』と題して、米国の代表的雑誌「アトランティック・マンズリー」(一八九六年十二月号)に英語で発表した。英語圏の人々は勿論、フランスでは佛語に訳され教科書などに掲載「ハマグチ」と「ツナミ」の日本語は、世界諸国の人々の知るところとなった。

翁の死後の一九〇三年(明治三十六年)、翁の末子濱口担(一八七三—一九三九)が母校の英国ケンブリッジ大学に招かれ「日本の女性」という題で講演を行った。講演も終わり聴衆の質問も終わった時、一人の若い女性が立ち上がり、「講演の内容とは直接関わりがないのですが、しかし今、私は

一つの問題にとらわれて胸がいっぱいなのです」と断りながら、「それはラフカディオ・ハーンの『生ける神』を読み、極東に日本というイギリスと同じ島国のあることを知ると共に、その紀州沿岸を大津波が襲来した時、身をもって村民を救った濱口五兵衛(儀兵衛)のあることを知りました。私は濱口の仁勇に表現できない程の深い感動を覚え、その後一日たりとも忘れることは出来ません。かくまで濱口の名に憧れている者ですので、今日の講演者の濱口さんという名前に感興を催さずにいられません。講演された濱口さんと私の崇拜する濱口との間に何の関係もないのでしょうか、是非それを伺わせて下さい」と言って着席した。衆目は期せずして壇上の講演者に集まった。担は、このような場所で父の話が出ようとは、夢のようであり、今更ながら亡き父の偉大さと懐かしさに感極まって一言も発することが出来なかった。

不思議に思った司会者が担に近付き、無言の事由を訊ねた。担は「遠いイギリスまで来て、父の話が出ようとは……。そのため絶句してしまった」と司会者に告げた。司会者は担の気持ち会場の人々に伝え

すると、拍手と歓呼が万雷の轟きのように会場を圧倒していった。かつてこの会場で、このような感動に満ちた場面は空前であり絶後かも知れないと、当時の様子を伝える文章が結んでいる。

最近まぎらわしい呼びかけの電話や郵便が多くなった様です。十分ご注意ください。

なお、担氏は、帰国後、衆議院議員を何期か務められ、耐久創立七〇周年記念式典の折は、『立校の精神』と題して記念講演を行っている。

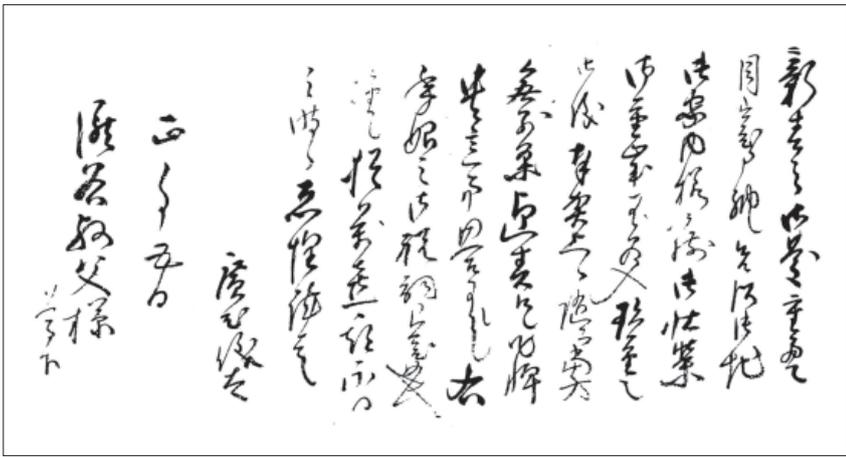
翁の幼少期、最もその育成に努力したのは、翁の祖父五代濱口儀兵衛・灌圃である。翁はこの祖父の立居振舞いを身近に感じて、自然と身についた部分が多かったという。翁の父、七右衛門は灌圃の二男であるが、翁の生誕、間もなく二十三歳で死去。それだけに灌圃にとつては、初孫であり、この孫の養育に意を注ぐ。幼少から英明であった翁は、祖父の厳しい躾や学問、さらには剣道・杖道等にも力を発揮する。初孫を愛情を持って厳しく観察していた灌圃は、六代儀兵衛に子のない事情もあり、翁十二歳の時、本家に入らせ名を儀太と改めさせる。本家の後継者としてまた商人として「書」が大仕事と、栖原村の垣内乙山に学ばせ、翁は銚子に赴任してからも通信で指導を受けたという。

幼少期の翁の生育に関わった五代濱口儀兵衛・灌圃とは、どのような人物であったのか。

灌圃は、銚子「ヤマサ醤油」の五代主人として、醤油の量産と醤油販売により江戸で得た利潤を金融などに廻し資産を運用する。さらに銚子と江戸に支配人を置き、商業の万全を期し、その結果、ヤマサ醤油は順調に発展してゆく。また教養人であった灌圃は、絵画を好み、紀州藩士で全国的に著名な野呂介石に師事した。介石は藩士辞任

後、よく広村の濱口邸に滞在し、灌圃や湯浅の平林無方を指導した。灌圃、無方の二人は介石の高弟「五俊の一人」と評価され、今も県立和歌山博物館に二人の絵画や師介石の山水画が保存され、時々一般公開もされる。この様に、翁の祖父は高い教養の持ち主でもあり、梧陵翁には色々の面で影響を及ぼした。

梧陵翁も名筆家であった。私の恩師籠谷輝夫氏より頂いた書面（梧陵翁十三歳時の直筆の賀状）を紹介する。（尚、この書面は、現在湯浅町教育委員会に保管されている。）



梧陵自筆の賀状 解説

新春之 御慶重畳 目出度申納候 先以御地
御家内様御揃御壯栄 御重蔵 至為 入珍重之
御儀奉 賀上 候 随而 当方無 別条 迎春候 午 俾
貴意勿思召可 被 右 年始之御祝詞申上度
如此 御座候 猶万喜可 期 永日之時 候 恐惶謹言
正月五日 広屋 儀太
籠谷叔父様 尊下

少年儀太の銚子から紀州湯浅の母方の叔父への年賀状で、「広屋」は濱口家の屋号である。

差し出し年が詳らかではないが、天保五年（一八三四）五月には元服して儀太郎と改名しているから、それ以前多分天保五年正月の賀状と思われる。則ち年齢十三才六ヶ月、今の中学生の頃であろうか。

それにしても、筆勢といい、叔父の姓の「籠」などは、異体字の「籠」を使っており、学問の深さや探究心の旺盛さが滲み出ている。

「祖父の『書』を学べ」の奨に応じたものであるが、梧陵は既に少年期より、卓越した能力と、更に、それを磨こうとする積極性が備わっていたことを物語る書面でもある。



浜口梧陵(儀兵衛) (1820-1885)

梧陵翁は、幕末から維新さらに明治へという激動の中、「稲むらの火」を掲げ人々を導いた人物である。

幼少期より祖父の薫陶を受け、自己を磨く努力を欠かさず、時代を先取りする炯眼と、庶民の苦しみを己の苦しみと受け取る慈愛に満ちた人で、その高邁な精神は計り知れない。

翁の寄贈した種痘研究所の設立は東京大学医学部に連なり、さらに医学面で遅れていた有田に「那耆病院」を私費で設立したのも梧陵翁である。そして「百年のふる里を護る」と緻密な計画で完成した「広村堤防」。若き者たちの学問に意をもちいた創立の「耐久社」。数えればきりが無い偉業の数々である。

この度は、その一部の紹介で拙い文を終わらせていただくことにする。

プロフィール

- 垣内 貞（かきうちただし）
旧制耐久中学39期生
昭和3年12月生まれ
湯浅町別所在住
昭和63年湯浅小学校校長を最後に退職。教職歴40有余年。
以後、文化財の研究に没頭。特に熊野古道関連を中心とした著書が多い。
- 元湯浅町教育委員会教育委員長
・前湯浅町教育委員会教育長

有田耐久会

これまで手入れありがとう

6月中旬、「なぎの木」の手入れをしました。広村堤防緑地に20cmほどの苗木を植えてもう4年たちました。そして今、大人の背丈ほどまで伸び、周りの木々の仲間入りをしています。年に一度の施肥、夏場の水やりなど手入れをした甲斐がありました。

先日、広村堤防が日本遺産の一つに認定されました。2年後、梧陵翁の生誕200年を迎えます。これからもみんなで手入れに取り組んでいきます。

有田耐久会会長 和泉保廣



有田耐久会日帰りバスツアー紀行

会員の親睦にと始まった二年に一度のバスツアー。今回は28名の参加で天候にも恵まれ、一日を存分に楽しんで来ました。

5月20日、最高のコンディション、暑くも寒くもなく行楽日和の一日。ターゲットは大阪、それもこてこの大阪やん。

まずはアクアライナーで行く大阪クルーズ。大阪城港を午前10時に出港。船から陸を見上げれば、たくさんの桜の樹は新緑に包まれています。船の揺れに身を任せ、心地よい風に当たり、何とも言えぬのどかな気分。日曜ということもあり、街をゆく人々もゆったりとしていて、それぞれ思い思いの方向へ。思ったことは「桜満開の頃に、またここに弁当でも持って来て、ビールを飲みながらクルーズしたら最高だ



ろうなあ」ということ。一時間あまりの間、命のせんたくのできたひと時でした。

次はホテル阪神でのランチバイキング。のどかだったクルーズと打って変わり、目の色変えて食べ物をゲット。アルコールも頂き気分良く満腹に。仕上げにアイスクリームまで頂き、ほほできあがり状態に!!

少し休憩してから大阪城内散策に出発。ガイドさんの説明がすごい。一気に引き込まれ時代は戦国時代へ。豊臣と徳川の攻防の歴史が目前にせまるような迫力に感心しました。そこで発見したのは、大阪城は二つあるということ。初めて造ったのは豊臣秀吉。でもその攻略にとても苦労した徳川家康は、見事なまでに秀吉の大阪城を消し去り、その上に今ある大阪城を再築。かすかに面影が残るのは井戸の下で見つかった秀吉時代の石垣のみ。戦国時代の戦のすさまじさと、勝者の執念のすごさを見た気がしました。

時代絵巻のあとは、今、外国人に大人気の黒門市場の食べ歩きへ。評判通り約8割は外人さんで、色んな言葉が飛び交う中、店を見て回りました。私にはどれもこれも値段が高いように感じましたが、たくさんの人が実際に食べているのを見ると、来ている人にとってはそうでもないのでしょうか。

帰路、色んな思いが交錯する中、歴史の重みと現在の世相を感じ、有意義でとても楽しい一日だったことに満足しました。次回こそは、是非皆さん思い切って参加してみてください。

有田耐久会副会長

山崎 佳彦 (高22期)

同窓会報をホームページに掲載

同窓会事務局のホームページ変更に伴い、ネットで同窓会報をご覧いただく事が出来るようになりました。

会報の存在を、全同窓生の皆様にお知らせする事が困難なため、ホームページをご覧になった方からの口コミやSNSなどにより、多くの同窓生の方にお知らせいただければ幸いです。

同窓会事務局ホームページ

URL <http://taikyukai.net/>

メールアドレス shirai-t002@wakayama-c.ed.jp

ブランド古酒買取販売
5割 ストスト
 もらったけどそのままになっている洋酒、ご自宅にございませんか?
高価買取致します
洋酒 0120-54-8686
 お問合せ受付時間 11:00~18:00
 〒641-0036 和歌山市西浜875-2 定休日(土・日・祝)

田辺法律事務所
 弁護士 田辺 善彦 (高14期)
 〒640-8144 和歌山市四番丁26番地02
 TEL 073-431-2801
 FAX 073-433-2299

小畑産業株式会社
 代表取締役 小畑 英三 (高18期)
 〒640-8033 和歌山市本町3丁目18番地
 TEL 073-423-4148 FAX 073-431-4505
 ei-kobata@kbt.s.jp

「おいしさの仕上げは、やさしさのトッピング」
カフェ&ベーカリー オリーブ
 有田川町熊井759-1
 TEL.0737-52-8565
 営業時間/9:00~18:30 (カフェ/9:00~18:00)
 定休日/日・月・祝
 HP <http://www.wasaren.org/olive/>

メールアドレス shirai-t002@wakayama-c.ed.jp



硬式野球部 O B マスターズ甲子園予選3位

マスターズ甲子園、第1回和歌山県予選に出場しベスト4に進出し3位入賞しました。

予選リーグ初戦は歴史と伝統ある和一中桐蔭チーム。5点先制され苦しい展開となりましたが、後半勝負との予想通りホームラン2本と長短打を絡め11対7で大逆転勝利。

2試合目は那賀高校チームとの対戦。1点を争う試合展開で最終回に逆転を許しましたが、その裏、3得点しサヨナラ勝ちで決勝トーナメントに進みました。

決勝トーナメントでは、甲子園に初出場したメンバーを集めた日高中津との試合。最終回到同点に追いつかれ、タイブレーク制で延長戦を戦いましたが惜しくも8対9で敗れました。

マスターズ甲子園でのOB会の活躍が現役選手への刺激となり、1905年創部の伝統ある本校硬式野球部の『甲子園出場』の夢が叶うよう、今後ともOB会は現役選手のサポートを行っていきます。

硬式野球部
OB会長
北部 信之



関東耐久会

関東耐久会総会・懇親会開催

関東耐久会総会・懇親会が5月27日に定例会場となった。袋において開催されました。当日は大西同窓会長、田辺和歌山会長、和泉有田会長、鈴木関西副会長、笹井校長、上

は1年ぶりの再会で、同窓が和やかに肩をたたきながら大混雑。受付担当者は早く席へと誘導を催促、受付担当の若手（とはいえ還暦すぎた同窓生ですが）は右往左往でした。総会は校歌斉唱、大野会長の

最後の集合写真では、長幼の序として前列を誘導するもの、後列を目指す同窓もおおりました。副会長 宮井 義和(高25期)

山湯浅町長を迎え、総勢49名にての開催でした。受付付近では1年ぶりの再会で、同窓が和やかに肩をたたきながら大混雑。受付担当者は早く席へと誘導を催促、受付担当の若手（とはいえ還暦すぎた同窓生ですが）は右往左往でした。総会は校歌斉唱、大野会長の活動報告、本年度の活動計画、特に今年度は役員の変更も提案され、満場一致で議案は可決されました。役員改選を受け新会長の林紀男会長(36年卒)が就任挨拶をされました。

今年度はアトラクショントラックとして日伊協会常務理事宮本進様より「商社マンとしてのイタリ

関西耐久会総会のご案内

1 日時

平成30年10月7日(日) 11:00~15:30

受付 10:30開始

総会 11:00~11:30

講演会 11:30~12:30

演題:「Hero of Japan ~私が遭遇した世界の濱口梧陵～」

講師: 藪添 泰弘氏

元耐久高等学校校長 現和歌山外国語専門学校学園長

懇親会 12:40~15:30

歌手 寺本圭佑さん(日本クラウン所属)のプロの歌声や飛び入り参加も大歓迎! 毎年大好評の故郷の味覚も登場、販売。

2 場所

アートホテル大阪ベイタワー 4 F (旧ホテル大阪ベイタワー)

大阪市港区弁天 1-2-1 (ORC200内) TEL 06-6577-1111

3 会費 8,000円

4 締め切り 平成30年9月8日(土)

5 問い合わせ・申し込み先 各期の幹事

または 関西耐久会幹事長 宮崎裕子(高校31期)

TEL 080-2434-6893 E-mail:mikannoheta68@docomo.co.jp



組織強化支援活動

高38期
第三十八期同窓会



平成30年2月11日、三連休の中日に、昭和61年卒業生同窓会を開催いたしました。

耐久高校同窓会では、毎年50歳を迎える卒業生に学年同窓会の開催を推奨していますが、今年度は、話が進まず頓挫しそうになったところ、年末に幹事をまとめていただいた湯田さんから電話をいただき、急遽、同窓会を行う運びとなりました。動き出してからは短い時間ではありませんでしたが、スムーズに準備が進みましたが、幹事の一人一人も持ち味を發揮し、和氣藹々とした雰囲気の中で幹



事会を持つことができませんでした。なお、案内状につきましては本校同窓会の支援制度を活用させていただきました。この場を借りてお礼申し上げます。

同窓会まで2ヶ月からのスタート。みなさんからの返信が気になります。そんな心配も杞憂に終わり、150名を超える出席者、返信に至っては330名を超え、幹事一同胸をなで下ろしました。またお忙しい中、6名の恩師もご参加くださいました。

さて、当日は記念写真の撮影後、同窓会場に移り、高垣幹事長の開会の挨拶、物故者への黙禱に続き、恩師を代表して吉田先生のご挨拶、吉松先生の乾杯のご発声により、同窓

先生方からは自分たちが知らなかった卒業記念品の話や、ハイジャックに遭遇した話など、歴史を感じる話をたくさんいただきました。また、この日のために高垣君が制作した思い出の写真集をスクリーンにアップし、当時の流行曲とともに会場の全員が32年前に一気にタイムスリップしました。さらに、現在の高校生活の様子も上映され、脈々と続く耐久魂を感じ感慨に浸りました。続いて和田さん、田中の司会によるクイズ大会を行いました。各テーブルで大変盛り上がりを見せ、途中、大岡裁きならぬ、見事な数添裁きもあり、高レベルの戦いが繰り広げられました。

最後に全員で校歌斉唱、湯田幹事の閉会の挨拶で締めくくりました。

二次会もほとんどの参加者、6名の恩師も残っていただき、約6時間にわたる宴が続きましたが、みなさんの名残惜しい様子が印象に残りました。

私自身、耐久高校の卒業生であることを誇りに感じ、みなさんと同じ学年であること、友人であることをうれしく思います。また、至らぬことも多かったとは思いますが、幹事として携われたこと、感謝いたします。「5年後にお会いしましょう！」

*なお、残金の74,196円につきましては本校同窓会に寄付させていただきます。

幹事 田中 圭

組織強化支援事業

平成17年度より毎年
①卒業後4年を経過した学年
②50歳になられた学年
これら2学年を対象に同窓会開催を呼びかけ支援（案内状に対する経費負担等）を行うもので、毎年大変喜ばれております。

次はあなた達の番です!

- ・高67期（平成27年3月卒業）と
- ・高39期（昭和62年3月卒業）

上記、期の幹事・世話人の方には今から計画・準備をお願いします。素晴らしい集会を演出して下さい。

情報ボックス	<p>同窓会のご宿泊・ご宴会は有田川温泉へ!!</p> <p>有田川温泉 魚茶屋</p> <p>有田市国道42号線沿 Tel 0737-88-5151</p>	<p>医療法人 若葉会 ながたに歯科</p> <p>長谷晋作（高33期） ヨイハニ TEL:0737-63-4182 湯浅町湯浅1456-8 休診日：木、土午後・日・祝日</p>	<p>coffee & restaurant DONKEY ドンキー</p> <p>上山哲司（高28期） 湯浅町駅前通商店街 TEL 62-3135</p>	<p>株式会社 中井組</p> <p>代表取締役社長 中井賢次（高22期） 〒643-0004 有田郡湯浅町湯浅2512 電話：0737-62-4131</p> 
	<p>同窓会への問いかけ・ご提言は、何なりとお申し出下さい。（事務局）</p>			



高6期

高六期関東耐久同期会の開催

快晴に恵まれた5月20日、横浜中華街の「華正楼」で恒例の集いを持ちました。

今年は参加者10名と例年よりやや少なめでしたが、ご家族同伴で出て下さった方もおられ、今後はこのような形で親睦の輪を広げてゆければと思います。

冒頭、北村君の発声で乾杯、歓談の場となりましたが、80才前半にさしかかった私達もすっかり歳を忘れ、高校時代に舞い戻り、一年ぶりの再会を喜び合いました。次いで各人の近況報告に入りましたが、さすがに、健康についての話題が目立ちました。しかし、大病を見事克服された方々、あるいは現在辛い体調と懸命に取り組んでおられる方々のお話は、私達全員に多くの感銘と勇気を与えてくれました。そして又、バレエ、ダンス、囲碁、謡曲、写真、旅行等々、いつまでも若々しく元気で生きてゆく為の貴重な話題が提供されました。さらにその詩吟や謡曲の披露もあって、会は一層盛り上がり、楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいました。最後に皆で校歌を斉唱、記念写真に納まりました。



この後、近くの「港の見える丘公園」まで移動、横浜港を一眺、満開のバラはじめ数々の草花咲き乱れる園内を散策、「来年また元気で会いましょう」を合言葉に散会となりました。

思えば昭和のときから毎年開催されてきたこの同窓会ですが、これからもさらに続けてゆきたいというのが、皆んなの一致した思いでした。来年の幹事は中村君です。よろしくお願ひします。

戸田 有亮



高19期

「古希」記念の同窓会

高校19期（昭和42年卒）7・8・9組の同窓会が記録的な大雨の翌日、7月8日にホテルグランヴィア和歌山で開催されました。高校卒業から足かけ52年目となる同窓生53名と8組担任の栗原俊文先生にご出席いただき、盛会となりました。

宮崎正嗣幹事のスムーズな司会で始まり、私、阪本が幹事代表で「今年満七十歳となって、古希を迎える記念すべき年に開催できることに感謝」と開



会の挨拶をし、恩師の栗原先生も「今年米寿となり、みなさんの若さと元気を分けてもらうのを楽しみに来ました」と力強く挨拶されました。校歌斉唱後、今回、遠方の埼玉県から参加された福田雅彰君の乾杯で会場が一気に湧き、にぎやかな歓談となりました。

近況を報告し合うスピーチでは、53名全員が七十年の人生や高校の思い出を熱く語り、皆耳を傾け聞き入りました。

続いて隣の会場で二次会、余興が始まり、岩本のりさんのオカリナ演奏ではすばらしい音を聞かせてくれ、曾根良雄君のウクレレ演奏は明るく楽しいメロディで心がなごみました。そして「古希」を盛り上げようと幹事の坂井佐知子さんと山中三恵子さんが秘かに習った歌と、境久君のギター、法眼貞子さんのダンスによるフラメンコショーが始まると皆も手拍子で応援、一気に盛り上がり、感動するなか終了しました。

楽しい時間はあっという間に過ぎましたが、元気な同級生に元気をもらってお互いが満足した様子でした。次回は2020年に開催、幹事さんも決まり、二年後を楽しみに解散となりました。

阪本 享三

讚えよ耐久 われらが母校

古希記念 高19期同窓生

総合ビルメンテナンス・特定人材派遣 (株)ウイ・キャン・コーポレーション
取締役会長 岡 伸彦 (高14期)
代表取締役 岡 勇作 (高19期)
大阪市旭区中宮4丁目14番9号
TEL 06-6954-0346
FAX 06-6954-0577

ペットと泊まるログハウスの宿 パートナースハウスゆあさ
横山 享 (高14期)
湯浅町山田山・TEL・FAX 0737-65-3411
URL: http://www.partnershouse.jp

橋爪正文 (高39期)
ご予約は
TEL 0737-88-7005
FAX 0737-88-7775
URL http://www.tatibana.jp
〒649-0434 有田市宮原町新町17

貸し出し用校章小旗と名札を用意しています。同期会の集いに、ご利用下さい。(事務局)

絆 吹奏楽部の巻

部活OB・OGたちの

こんにちは！ 耐久高校吹奏楽部です。
 現在の部員は、3年生11名、2年生15名、1年生6名の計32名です。今年の新入部員は前年に比べ、大幅に人数が減ってしまい楽器選びや編成に悩みましたが、1年生の頑張りや2年生3年生のフォローもあり、活動できています。

吹奏楽部の活動内容は、校内の活動として、文化祭、硬式野球部の応援、図書館で行われるクリスマスコンサートなどがあげられます。文化祭では、中庭コンサートを開いたり、最終日の舞台発表でトップバッターとして会場を盛り上げたりしました。また、校外の活動として、この1年間で最大の大会である吹奏楽コンクール、そしてアンサンブルコンテストや高校総合文化祭、定期演奏会、地域のコンサートなど様々なイベントで演奏させてもらっています。

今年の吹奏楽コンクールでは大編成部門に部員全員で出場します。大きな目標である金賞を取るために、毎日練習に励んでいます。今年からは週に1回、外部の先生をお招きし、指導を受けることができるので今まで以上に一人ひとりの技術が向上していると思います。もちろん、まだまだ未完成な部分は多々あるので、暑い日々が続きますが日ごろの鍛錬は怠らないようにしています。

今後とも、本クラブの音色に耳を傾け、応援や支援してくださいませ。よう、よろしくお願いたします。貴方の心に残る演奏になりますように部員一同前進し続けます。

顧問 青木 涼



まご

同窓俳壇

- ・茄子漬の色鮮やかに食そそる
生馬 三紗子 (高18期)
- ・緑蔭や巨石の史話に聞き入りぬ
山 高 登紀子 (高18期)
- ・豊漁のうわさに訪へば釜揚げの
しらす「つ」の字に春の匂ひす
山 際 ヒ 口 (高女26期)
- ・子ら去りしあともブランコ揺れ止まず
春の嵐がいま遊びいる
脇 中 佐智子 (高10期)

アッ

夏の夜空を彩る花火は、見る人を魅了し感動させます。有田地方では、大小10か所の花火大会が開催されています。花火といえば、古くは江戸初期の両国の「玉屋」鍵屋」を思い浮かべますが、打ち上げられた花火はたかだか20発。後期になると100発ぐらいで、打ち上げの高さは30〜50mくらいといわれています。現在、花火技術は年々進歩しています。花火の肝は職人さんが手作業で、花火の大きさ・形・色・柄を決める種々の火薬を詰め込んでつくる「花火玉」です。様々なサイズがあ

り、尺玉ともなると300mまで上がり300mの輪を開花させます。打ち上げは、専用の筒から発射させ空中で爆発させます。遠隔操作による電気点火が主流です。数十発から数百発の玉を職人が連続して打つ「スターマイン」は花火大会のフィナーレを飾り数分間の光の競演となります。さてさて、次にはどんな新型が出るのか楽しみですよ。

◆ご献金に感謝
 ・高19期同窓会様
 ・高38期同窓会様

『編集後記』

関東・甲信地方では6月29日、観測史上最も早い梅雨明け、7月23日、埼玉県熊谷市で41・1度の日本最高気温、8月には、西日本豪雨、初めてとなる5日連続の台風発生、命に危険が及ぶ猛暑等々、今年も異例づくめの夏となりました。

さて、今号から、我が母校の開学に尽力した三翁の一人「濱口梧陵翁」の生誕二〇〇年を記念した「特集記事」をシリーズ化し、掲載することになりました。今回は、トップバッターとして垣内 貞先生に執筆いただいています。ラフカディオ・ハーンによつて全世界に知れ渡ることになった「ハマダグチ」と「ツナミ」の日本語、翁の偉業の数々、改めてその偉大さを実感したところです。

また、今春、赴任された川久保教頭、玉置事務長のお二方には、「耐久リバーズ」の充実・推進への決意を表明いただき心強く感じています。

その他にも、関東・関西・有田耐久会の臨場感あふれる活動報告や旧交を温めた各期の同窓会、「マスターズ甲子園」予選でのOBの活躍、吹奏楽部の活動の様子、心とむ「俳壇」「歌壇」等々、盛りだくさんの内容で編集しています。どうか一読ください。

なお、投稿いただいた皆様方や賛助広告等でもご支援いただいている方々に、紙面をお借りして心から厚く御礼申し上げます。

